

No. 2907

2018-2019年度  
 会長 上野山 栄作  
 幹事 嶋田 崇  
 R広報委員長 菅原 佳典

担当：中村委員、嶋田(ひ)委員



第2640地区  
 例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 事務所 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020  
 創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
 e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

**Take Action and Enjoy!**  
 行動を起こそう！そして楽しもう！



**本日のプログラム**

- 平成31年4月18日 第2908回  
 ・クラブ協議会  
 「創立60周年記念事業について」  
 ・ソング：「四つのテスト」

**次回のお知らせ**

- 平成31年4月25日 第2909回  
 ・会員卓話：北畑 貴行 君  
 「改めて自己紹介」  
 ・ソング：「我等の生業」

**前回の報告（第2906回例会）**

**開催日** 平成31年4月11日(木)

**点 鐘** (上野山(栄)会長)

**ゲストの紹介** (石垣(泰)親睦活動委員長)  
 ゲスト:秋竹俊伸様(榊早和果樹園 代表取締役社長)

**委嘱状伝達**



ロータリー米山記念奨学会より、川口君に米山カウンセラーの委嘱状が届きましたので、上野山(栄)会長より授与されました。

**今月の誕生・結婚祝**

(石垣(泰)親睦活動委員長)

会員誕生:児嶋君、嶋田(恵)君、橋爪(誠)君、成戸君  
 脇村君



**4月のお誕生日**  
 (左から)  
 脇村君、橋爪(誠)君、児嶋君です。  
 お誕生日おめでとございます。

配偶者誕生:嶋田浩和さん、木本真理さん、松村寿子さん  
 結婚記念:脇村君、橋本君、丸山君、應地君

**会長の時間** (上野山(栄)会長)

**「地域福祉のゆくえ」**

少し前になりますが、日本福祉学会の関西社会福祉学会2018年度年次大会が堺の関西大学で行われ、参加させていただく機会を頂きました。テーマは「人口減少社会と社会福祉」でした。

私は学会の会員ではありませんが、以前、有田市の社会福祉協議会の関係で知り合った関西大学の所教授の依頼を受けて「まちづくり」という観点から短時間の発表とパネリストとして参加いたしました。福祉というと住民サービスというイメージでありましたが、日本の抱える少子高齢化と都市集中経済による過疎と消滅都市の問題にどうメスを入れるのか、というような論点が多く話されていました。

皆さんはご存知でしょうか？消滅可能性都市という概念。全国市区町村別20～39歳女性(子どもを産む女性)の将来推計人口が2040年に50%を下回る自治体で、該当した896の自治体のことを指しています。これは全国の自治体の4割以上、ほぼ半分を示すというのですから驚きです。大都市でも選ばれているところは多いようです。この指数のワースト50を見てみると和歌山県では高野町18位、紀美野町39位、すさみ町41位とランクインは少なかったです。北海道は50都市13都市が入っていました。出生率の問題を解消しない限り自治体は持ちこたえられない、その時の対応策をどう講じるか等も社会福祉の役割であることも分かりました。数人だけの過疎エリアのために、そのコミュニティを継続させる費用と必要性、今後そのような地域はまとめて移住させることも必要だという考え方が論じられ



ていました。また、住民の理解を経て、まちを消滅させる「コミュニティの看取り方」という話も出ていました。人口減少問題には、対策と対応、双方同時に考える必要があると感じました。

4月はロータリー特別月間「母子の健康月間」ですが、日本ではまず、子どもを育てたくなる地域整備が必要だと思います。そのために有田では何が必要でしょうか。

### 幹事報告 (嶋田(崇)幹事)

1. 第10回定例理事会報告…書面にて配布
  - ①4月5月の例会プログラムの件…承認
  - ②2月3月試算表の件…承認  
創立60周年記念事業特別会計 記念式典・祝賀会の3月分支出金の科目を考える。
  - ③桜木の手入れの件…承認  
消毒代2万円を地区の代表者の方に開催日前後にお渡しする。
  - ④ 箕島高校職業紹介事業報告の件…承認  
有田RC会員及び関連企業12企業の協力が有り、とても有意義で盛会だった。
  - ⑤60周年事業の件 理事会後に委員会開催という事で一任…承認
  - ⑥ロータリアン1人100円募金運動(米山記念館)の件 昨年8/9に振込み
  - ⑦国際大会信任状と代議員の件…承認  
会長が直接出席するかあるいは樫畑Gに依頼する。
  - ⑧次年度組織図の件…承認
2. 3/31開催の親睦家族旅行の参加費徴収について…  
会員、家族ともお一人5,000円を次週4/18の例会前に徴収致します。
3. 地区より2021-2022年度ガバナー候補者選出についての文書が届いています。推薦者がおられましたら、5月中に幹事までお申し出下さい。

### ロータリー友誌 (中村R広報副委員長)

#### ロータリーの友誌4月号

##### ☆横組み

- ・3P:RI会長メッセージ 4月はロータリーの母子健康月間。グローバル補助金を利用したプロジェクトによる成果
- ・8~15P:特集 命の重み、感じてますか?
- ・8~11P:徳島南RC 地域と共に11年。自殺防止への取り組み。
- ・11P:自殺予防の3つの要素グッドヘルス、グッドメンタル、グッドコミュニティ
- ・22P:今年米山梅吉記念館は創立50周年を迎える。米山梅吉と福島喜三次のガラス邂逅
- ・31P:ロータリー・モメント 樫畑ガバナー「不思議な縁」

##### ☆縦組み

- ・4~8P:アジアの中の折りたたまれた日本のこころ ジャパンハート ファウンダー 最高顧問 吉岡秀人氏 小児外科医である吉岡先生の壮絶なミャンマーでの医

療活動が掲載

- ・22~31P:ロータリーアットワーク
- ・23P:第9回岸高こどもクッキング教室開催 岸和田東RC
- ・26P:新年の火祭りで祈願 高野山RC
- ・28P:二上山で清掃と日時計への碎石補充 太子RC

### 委員会報告

- \* 社会青少年奉仕委員会(川口委員長)  
みかん海道並びにウエノ公園桜木の手入れと清掃活動について説明
- \* 有田RC60周年記念事業特別委員会  
(橋爪(誠) 実行幹事)  
本日スタッフミーティングを開催します。
- \* 会長エレクト(橋本会長エレクト)  
次年度理事会及び本年度理事会にて2019-20年度の組織が承認されました。本日、組織表を皆様に配布しております。

### 出席報告 (木本例会運営委員長)

- 本日の会員数31名  
(出席規定免除会員9名)  
出席会員数22名  
(出席規定免除会員6名)  
78. 57%  
3/28 93. 10%  
MU:成川(守)君、上野山(栄)君、菅原君、成戸君

### ニコニコ箱の報告 (松村SAA)

上野山(栄)君:早和果樹園の秋竹社長様、本日はよろしくお願ひ申し上げます。昨日は60周年スタッフ会おつかれ様でした。日曜日の桜木の手入れ、よろしくお願ひします。

嶋田(崇)君:秋竹様、本日は卓話宜しくお願ひします。  
岩本君:秋竹社長様、本日の卓話楽しみにしています。

私も少し柑橘農業をしています。

児嶋君:ようこそ、有田ロータリークラブへ。秋竹俊伸さん、卓話よろしくお願ひします。

石垣(泰)君:秋竹俊伸さん、本日は卓話楽しみにしております。宜しくお願ひします。

児島君:秋竹俊伸様、ようこそ。卓話楽しみです。

橋本君:秋竹様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

石垣(洋)君:秋竹様、お忙しい中、卓話にお越しいたきありがとうございます。

川口君:秋竹俊伸様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。14日(日)は清掃事業です。天候ややこしいですが、開催の折はご協力宜しくお願ひ致します。

橋爪(誠)君:秋竹様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

木本君:秋竹俊伸さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

井上君:秋竹様、本日はよろしくお願ひします。

上野山(捷)君:秋竹俊伸様、本日の卓話ご苦労さまです。

松村君:早和果樹園の秋竹社長様、本日よりお願ひします。

卓話

「新時代のマクアケ

若者と共に！夢のある農業経営を」



株式会社早和果樹園  
代表取締役 社長  
秋竹 俊伸 様

皆様初めまして。株式会社早和果樹園代表取締役社長の秋竹と申します。本日はよろしくお願ひします。大層なタイトルが付いておりますが、本日は、弊社の取り組みと、組織についてお話をさせていただきます。短い時間ではございますが、よろしくお願ひします。

まずは早和果樹園のご紹介をさせていただきます。早和果樹園は昭和54年、7戸のみかん農家で立ち上げた共同選果場組合がその前身です。その後、7戸のうち4戸から後継者が現れ、組織を強くしようと平成12年に法人化、「有限会社早和果樹園」を立ち上げました。ただし、設立当初はみかんの価格も不安定で、異常気象なども伴い青果だけでは経営の舵取りが非常に難しくなり、農産加工の道に進むことになりました。平成16年に加工事業に入り、最初に作った糖度12度以上のみかんジュース「味ーしぼり」を皮切りに、現在では加工品が売上の大部分を占める様になり、いわゆる、有田みかんで6次産業(1次産業・2次産業・3次産業をかけたも足しても6になる)を行う会社となってきました。

自己紹介をします。私は1975年生まれの43歳。有田のみかん農家に生まれ、高校を卒業後、農林水産省果樹園芸試験場興津市場(現、農研機構)にて就農のための勉強(?)を行い、平成8年に就農しました。その後、早和果樹園に入社するも30歳位までは自宅のみかん農業に従事し、30歳を過ぎてから早和果樹園の常勤になりました。総務部長、専務を歴任し、平成29年9月に2代目代表取締役社長に就任。現在事業承継の難しさを痛感しているところです。

弊社の概要といたしまして、常勤が70名程度、売上金は9億3千万程度。直営農場が8haあり、その殆どで温州みかんを栽培しています。扱い量として、生果用が約400t、加工用で約1200tを使っています。調達方法として、自社園地及び近隣農家からの買い付けを行っており、有田みかんに特化した経営を行っています。

社是は「にっぽんのおいしいみかんに会いましょう」で、

日本の代表的な果物である有田みかんを日本中や世界中で味わってもらえるような社是にしております。また、経営理念も地域と共に生きる早和果樹園ならではの理念を掲げております。

早和果樹園の組織を紹介いたします。まずは生産部です。直営農場で、若い社員7名が日々「美味しいみかんを作るべく努力しております。また、先端的な手法として、ICT農業を取り入れ、富士通と共にデータベースを活用した「見える農業」を勧めています。また、ドローンなどを活用して、急傾斜園地を俯瞰して見回りできる方法や、J-GAPにも取り組み、安心安全なみかん農業をモットーに日々奮闘しています。

製造部では、外には外注せず自分たちで製造する「自前主義」を貫き、豊富な原料をバックに、みかんの美味しさそのままの商品を製造しています。中でも、みかんの皮をむいて薄皮ごと搾る「チョッパー・パルパー」方式での搾汁をおこなっており、まるでみかんを食べるようなジュースを生産しています。また、搾汁した果汁をホットパックすることにより、1年を通じて加工品を生産できるような仕組みにしています。

営業部では、自社主導の販売を心がけています。加工品を作った当初はなかなか売れていかなかったですが、東京有楽町の和歌山県のアンテナショップなどで紹介されるたびに少しずつ売れるようになってきました。また地元のSAでの販売などを通じて、加工品の販路が徐々に広がってきました。今では各地のお土産物屋さんでの試飲販売や、各地のSA、百貨店やデパート、ピーチアビエーションでの飛行機内販売、また、海外展開も行うようになってきました。東京の浜松町に東京事務所の拠点を置き、関東への営業も強化しています。

また、総務部内にEC事業課を昨年設立し、消費者への販売であるネット販売の強化にも努めております。現在では、自社サイトだけではなく、楽天市場、Yahoo!ショッピング、Wowma!などへの出店を行っております。また紙媒体のカタログにも力を入れ、幅広い世代に対して販売を仕掛けています。昨年9月に本社を移転し、3階建ての新社屋を建設しました。1階には直営SHOPをOPENし、早和果樹園らしい直販展開を行っています。SHOPには入社1年目の女性を店長に据え、若い力で運営に邁進しています。

また、ファンづくりとして「アグリファンフェスタ」というみかん狩りイベントを開催しています。本年度で15回目となり、昨年11月に開催された時は、950名以上の来場者を迎えました。特に小学生以下の子供が350名と非常に多く、家族連れが特に目立ちました。早和果樹園のプロ園地でみかんを収穫するだけでなく、会社敷地内ではたくさんのフードブースやいろんな催し物があり、一日楽しめるフェスタ(お祭り)となってきました。また、龍谷大学の学生にも手伝ってもらうなど大学との産学連携の関係を深めています。その他では、地域の小学校の工場見学視察の受け入れや、中高のインターンシップなども積極的に受け入れています。

受賞歴として、6次産業化優良事例表彰などで農林水産大臣賞をいただくなど、各種の賞も頂いており、たくさんの方のステークホルダーに支えられながら、みかん産業の

リーディングカンパニーとして6次産業を頑張っております。

製品紹介をさせていただきます。まずは生の有田みかんです。12月を中心に全国各地に出荷しています。みかんに特化した加工品は、ジュース、ゼリー、ジャムなどを筆頭に、高果汁率の商品を生産しております。最近ではドライフルーツにも力を入れています。

また、本来捨てるはずの、「みかんの皮」にも力を入れており、搾汁の際に出る皮を乾燥させて、「陳皮」として漢方薬会社に納入しています。その他、皮を粉末にした健康食品や、皮から取れるエキスを利用した化粧品など、皮を捨てることなく活用しております。さらに薄皮にも着目し、繊維質たっぷりのゼリー「おふくろスムージー」という薄皮入りゼリー飲料も開発。まるで魚を3枚に下ろすように、みかんも果汁・皮・フクロに分け、更なる価値向上に努めています。

以上のように、多様な商品を扱う過程で、たくさんの人材が必要になってきます。事業には「人」が必要です。そのため、弊社では正社員雇用を推進しております。地元雇用のみならず、有望な新卒大学生を積極的に採用し、会社で活躍してくれる人材を常に募集しています。また、繁忙期などは地域から約80名の臨時雇用を行っており、その時は早和果樹園は総勢150名体制になったりします。人の雇用と組織づくりこそが、今後の企業経営を支えていくと感じております。

そこで、雇用と組織づくりのお話をさせていただきます。弊社は現在、20代の若者が約4割おります。若者パワーで会社を引っ張ってくれています。若者は各部署に別れ、それぞれ活躍してくれています。弊社が行っていることとして、①毎年数人の新卒採用、②育成プランの策定、③コミュニケーションづくり、④部署別経営の推進です。①については、5年前から複数名の新卒大学生の採用を行っております。最初の5名を採用した時は、とてもためらいましたが、会社の空気が変わり活気が出てきました。そして、毎年採用することで、1年目、2年目、3年目と競争の意識が芽生え、非常に成長が早くなることも体感しました。今でも毎年複数名採用し、同期と先輩後輩の関係性を作り、若者が来なくなる会社を目指しています。②については、入社3年目の社員を対象に、その後の人生プランを一緒に考える機会を作っています。専門性の業務を優先した、「プロフェッショナルプラン」と、農業経営ができるように多様な経験を積ませる「サクセッションプラン」の2プランを用意し、それぞれの社員の強みにフォーカスした育成を目指しています。③については、他部署間のコミュニケーションを中心としたイベントを開催し、社員相互の関係性の強化を行っています。月イチで開催する社長主催の「秋バー」や、社員旅行、社員食堂などの福利厚生を利用したりと、業務の拡充に欠かせないコミュニケーションの醸造を行っています。④については、社員として数値を理解し、それぞれが能動的に動けるよう、MQ会計を活用した数値に強い人材づくりを行っています。発表の場として、毎年金融機関を呼んで開催する経営計画発表会などを通じて、社員が自己研鑽できる場を作っています。早和果樹園は、数字とコミュニケーションで組織づくりを行っています。

最後に、弊社の全体の取り組みとして、持続できる産地づくりを目指しています。450年の歴史ある有田地域のブランドみかんを守るため、地域のみかんの高値買取を手段として行っています。加工用みかんは従来は非常に低価格で取引されてきましたが、付加価値のある商品開発を通じて、弊社は地域の相場より高値で買い取りを続けています。周辺の農家さんは非常に喜んでくれており、これを持続することで地域にお金が落ち、産地継続の一助となります。温州みかんはピークである昭和50年頃には360万トンの生産量を誇ってましたが、現在は76万トンまで下落しています。ただ、この有田地域には日本の約1割である8万トンの生産量があり、有田地域はまだまだ元気があると感じております。弊社の有田みかん取扱量は約1600トンで、まだ約2%程度しか扱っていません。これを10%まで上げることで、産地を盛り上げることができると考えております。有田みかん農家が立ち上げた早和果樹園だからこそできる、地域貢献を今後も続けていきたい。実も皮も活用して「みかん1個の価値」を上げれば、生産者が潤う。そんな活動を早和果樹園は目指しています。ご清聴ありがとうございました。

### 閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)

#### みかん海道・ウエノ公園桜木の手入れと清掃活動 2019年4月14日(日)

箕島高校の生徒さん達にもご協力いただき、今年も桜木の植樹や清掃活動を行いました。

